

## 循環器内科および本研究の参加施設に、過去に通院・入院された患者さんまたは ご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 心房細動患者におけるカテーテルアブレーション治療前の包括的画像診断と治療後の心房容積減少（逆リモデリング）の関連、および予後に関する観察研究

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 南須原 康行

[研究代表機関名・研究代表者名・所属] 北海道大学病院循環器内科・講師 甲谷 太郎

[共同研究機関名・研究責任者名]

市立札幌病院 循環器内科 部長 横式尚司

国立病院機構北海道医療センター 循環器内科 医長 佐藤実

社会医療法人 孝仁会 大野記念病院 循環器内科 主任医長 三山博史

北見赤十字病院 循環器内科 第二循環器内科部長 小野 太祐

市立砂川病院 循環器内科 医長 水上和也

市立函館病院 循環器内科 医長 宜保浩之

[研究の目的] 本研究の目的は、心房細動患者における種々の画像診断所見とカテーテルアブレーション後の心房容積の減少（逆リモデリング）、および予後転帰との関連を検討することとする。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2015年1月から2021年10月31日までの間に北海道大学病院において心房細動アブレーション手術を受けられた方および、2015年1月から本研究の承認日までの間に本研究参加施設において心房細動アブレーション手術を受けられた方

○利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、心房細動アブレーション中の心内電位記録等）

この研究は、北海道大学病院および北海道大学病院の関連病院で心房細動のカテーテルアブレーション治療を行っている機関で実施します。上記のカルテ情報は、心房細動の治療成績改善を目的にして解析のため、症例報告書（パスワード付のエクセルファイル）に記

入り電子媒体によって、あるいは、CD-ROM にて北海道大学病院に提出されます。また、本研究で収集したカルテ情報は、「心房細動患者におけるカテーテルアブレーション治療時の左房電位マッピングの定量的評価に関する観察研究」(生 025-0039) にも二次利用させていただく予定です。

[研究実施期間]

実施許可日～2031年3月31日（登録締切日：2025年12月31日）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目  
北海道大学病院循環器内科 担当医師 川崎 祐寛  
電話 011-706-6973